



## 平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月9日

上場取引所 東

上場会社名 エコートレーディング株式会社  
コード番号 7427 URL <http://www.echotd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 一彦

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 堀 和仁

TEL 0798(41)8317

四半期報告書提出予定日 平成27年1月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	56,800	0.1	△72	—	△55	—	△68	—
26年2月期第3四半期	56,742	△1.7	9	△96.9	18	△95.4	△206	—

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期 △33百万円 (—%) 26年2月期第3四半期 △187百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	△11.28	—
26年2月期第3四半期	△34.26	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	29,295	—	8,541	—	—	29.2
26年2月期	25,217	—	8,699	—	—	34.5

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 8,541百万円 26年2月期 8,695百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	10.00	—	10.00	20.00
27年2月期	—	10.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,300	0.0	190	△2.1	200	△2.0	80	—	13.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年2月期3Q	6,036,546 株	26年2月期	6,036,546 株
27年2月期3Q	644 株	26年2月期	644 株
27年2月期3Q	6,035,902 株	26年2月期3Q	6,035,902 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。経済状況・市況環境等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行による金融緩和の効果により景気は回復基調にあります。しかしながら、4月1日の消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要とその反動からの立ち上がりが遅く、また、急激な為替の変動、海外景気の下振れリスクなどにより、個人消費を取り巻く環境及び消費全般の基調は引き続き楽観視できず、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

ペット業界におきましては、個人消費に持ち直しの動きが見られたものの、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループでは昨年5月3日から4日開催の『みんな大好き！！ペット王国（京セラドーム開催10周年）』と同時に、新しい取組として同じく5月2日から4日にかけて「未来につながるペットカテゴリー価値訴求へのメッセージ」をコンセプトとした『ニューマーケット創造提案会』を開催し、《Change 変化》《Challenge 挑戦》《Chance 可能性》をキーワードとした価格志向脱却のMD戦略提案を行ないました。

ペットフード・ペット用品の卸売事業につきましては、ペットの専門性を高め、商品の安定供給から売場作りの企画提案までのトータルサポートを行ない、顧客満足度を高めてまいりました。また、物流面では引き続き物流改革プロジェクトチームによる関東エリア・関西エリア・九州エリアの物流業務の効率化を進めております。

一方、ペッツバリュー株式会社では、店舗開発事業の管理店舗数が204店舗になり、また、平成24年8月に立ち上げました総合ペットプランニング部を平成26年3月より当社から移管し、店舗開発と商品開発の専門化を図り、高付加価値商品開発とサービスの提供を推進いたしました。

また、株式会社ケイ・スタッフでは、得意先の売り場活性化に繋がる営業企画提案を引き続き実施しており、卸売事業の販売促進を支援することによる売上拡大を図ってまいりました。

また、ココロ株式会社においては、インターネット通販事業の拡大を推進いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、568億円（前年同期比0.1%増）となりました。また、低価格志向の影響によるペットフード及びペット用品類の販売単価の下落の進行や、一時的なコスト（関東エリアの物流再編に伴う物流コスト及びニューマーケット創造提案会の開催に伴う販売費）の上昇があり、営業損失は7千2百万円（前年同期は営業利益9百万円）となりました。

経常損失は5千5百万円（前年同期は経常利益1千8百万円）となり、また、四半期純損失は6千8百万円（前年同期は四半期純損失2億6百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ40億7千8百万円増加し、292億9千5百万円となりました。これは、主に有形固定資産が1億5千9百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が34億4千8百万円、商品が8億6千6百万円それぞれ増加したことによるものであります。

受取手形及び売掛金が増加した要因は、主に当第3四半期連結会計期間末が金融機関の休日であることに伴い、当該日に銀行振込で回収予定の売掛金の回収が、一部翌月に繰延べられたことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ42億3千5百万円増加し、207億5千4百万円となりました。これは、主に短期借入金12億円減少したものの、支払手形及び買掛金が46億3百万円、未払金が7億3千4百万円それぞれ増加したことによるものであります。

支払手形及び買掛金が増加した要因は、主に当第3四半期連結会計期間末が金融機関の休日であることに伴い、当該日に銀行振込で支払予定の買掛金の支払が、一部翌月に繰延べられたことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億5千7百万円減少し、85億4千1百万円となりました。これは、主にその他有価証券評価差額金が3千3百万円増加したものの、利益剰余金が1億8千8百万円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期通期の連結業績予想につきましては、平成26年10月7日付「業績予想の修正に関するお知らせ」において公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(法人税率の変更等による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成26年法律第10号)が平成26年3月31日に公布され、平成26年4月1日以後に開始する連結会計年度から復興特別法人税が課せられないことになりました。

これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、平成27年3月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については、従来38.0%となっておりましたが35.6%に変更されます。

なお、この変更に伴う影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,304,700	3,248,069
受取手形及び売掛金	13,169,943	16,618,593
商品	3,829,959	4,696,904
貯蔵品	21,311	22,708
未収入金	1,865,364	1,813,001
その他	166,407	219,285
貸倒引当金	△420	△596
流動資産合計	22,357,266	26,617,965
固定資産		
有形固定資産	1,513,163	1,354,021
無形固定資産		
のれん	287,172	247,636
その他	152,568	170,207
無形固定資産合計	439,741	417,843
投資その他の資産	907,369	905,941
固定資産合計	2,860,273	2,677,806
資産合計	25,217,540	29,295,772
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,999,014	13,602,153
短期借入金	4,800,000	3,600,000
未払金	1,857,701	2,592,632
未払法人税等	46,256	15,129
賞与引当金	40,661	80,848
その他	265,661	346,632
流動負債合計	16,009,294	20,237,396
固定負債		
その他	508,870	516,649
固定負債合計	508,870	516,649
負債合計	16,518,164	20,754,045
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,988,097	1,988,097
資本剰余金	1,931,285	1,931,285
利益剰余金	4,738,537	4,549,737
自己株式	△590	△590
株主資本合計	8,657,331	8,468,531
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,816	64,284
為替換算調整勘定	7,627	8,912
その他の包括利益累計額合計	38,443	73,196
新株予約権	3,600	-
純資産合計	8,699,375	8,541,727
負債純資産合計	25,217,540	29,295,772

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	56,742,354	56,800,068
売上原価	49,571,900	49,701,003
売上総利益	7,170,453	7,099,064
販売費及び一般管理費	7,160,612	7,171,912
営業利益又は営業損失(△)	9,841	△72,847
営業外収益		
受取利息	5,264	4,388
受取配当金	6,364	7,190
業務受託料	9,026	16,269
その他	40,478	40,021
営業外収益合計	61,133	67,869
営業外費用		
支払利息	25,362	23,873
持分法による投資損失	15,693	14,764
その他	11,710	12,135
営業外費用合計	52,766	50,773
経常利益又は経常損失(△)	18,208	△55,751
特別利益		
投資有価証券売却益	10,963	13,970
保険解約返戻金	20,207	-
その他	50	4,905
特別利益合計	31,221	18,875
特別損失		
減損損失	180,000	-
固定資産除却損	7	8,204
その他	15	-
特別損失合計	180,022	8,204
税金等調整前四半期純損失(△)	△130,592	△45,080
法人税、住民税及び事業税	62,601	39,609
法人税等調整額	13,580	△16,608
法人税等合計	76,181	23,001
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△206,774	△68,082
四半期純損失(△)	△206,774	△68,082

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△206,774	△68,082
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,648	33,468
持分法適用会社に対する持分相当額	4,087	1,284
その他の包括利益合計	19,736	34,752
四半期包括利益	△187,038	△33,329
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△187,038	△33,329



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。